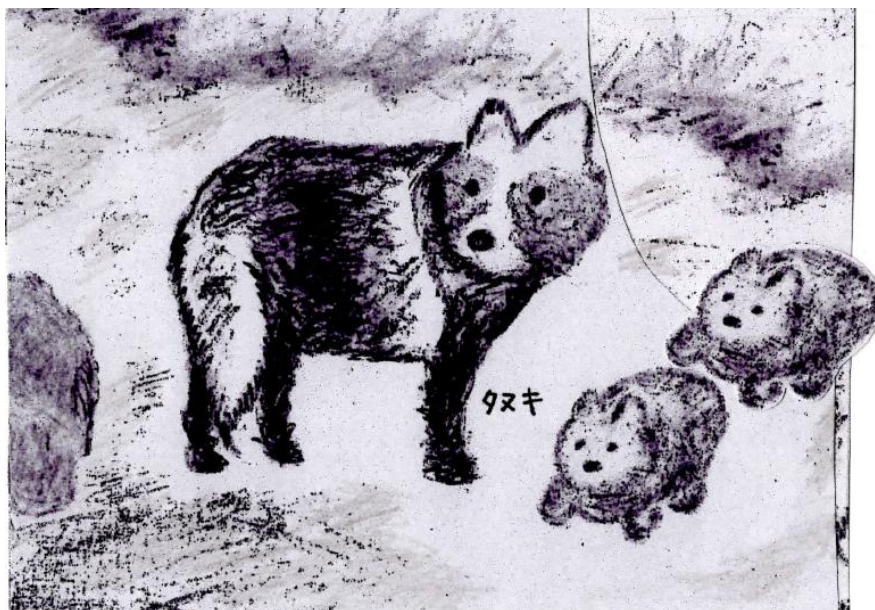




# ゴロスケ報々



イラスト：絵本「月夜のおまつり」より（森の絵本づくりの会）

## 定例行事の報告

### ●みんなでバードウォッチング 活動再開しました！●

11月8日に8か月振りの「みんなでバードウォッチング」を開催しました。6月から9月までの第2日曜日にスタッフが集まり、どのような形で「みんなでバードウォッチング」を再開できるか、話し合ってきました。7月には「みんなでバードウォッチング」のガイドラインを作成しました。今までの変更点は、1) 定員を設ける 2) 申し込み制にする 3) 雨天中止とする 4) 凶鑑の貸し出しはしない 5) スタッフのスコープは使いまわしを避けるため使用しない 6) 時間を短縮する(9:30~12:00) 7) スタッフ+参加者の1グループの人数を10名前後とする等。

そのガイドラインに基づき、9月にはスタッフが受付から解散までをシミュレーションし問題点を話し合い、10月再開を決めました。ところが台風の影響で残念ながら中止。再開は11月に伸びました。

11月の「みんなでバードウォッチング」は定員10名(申込18名で抽選)、2グループで実施しました。受付から解散まで、すべてグループごとに行い、全体で集まることを回避する形で行いました。

参加者からは「楽しく観察できた」「会話は少なかったが久しぶりに参加できて良かった」「スタッフが多くいるのもっと定員を増やせるのではないかな」などの声がありました。 鳥のくらし発見隊

### 友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

## ヤマトクロスジヘビトンボ

ヤマトクロスジヘビトンボの幼虫に初めて出会ったのは2017年1月のキッパリと晴れた冬の日のことでした。森の絵本づくりの会のメンバーといたち川の源流域の生きもの探しに行ったとき。もちろん、レンジャーの方の指導のもとです。

その日の水温は11℃で、採取した生きものは9種類になり個体数は46ありました。冬の冷たい水の中に息づく多くの生きものに出会って感動しました。その中でもヤマトクロスジヘビトンボの幼虫は印象深かったです。その姿は採取した水生昆虫のなかで一番大きく、体は太く、色は黒っぽく足のようなものがたくさん付いているのですから。その姿から川ムカデとも言われています。また、孫太郎虫とも言くと興味も湧いてくるのです。ヤマトクロスジヘビトンボがこの水域に住んでいるということは水質がきれいということなのです。水の中でも地上の森のようにたくさんの命のつながりのなかで生活しているようです。

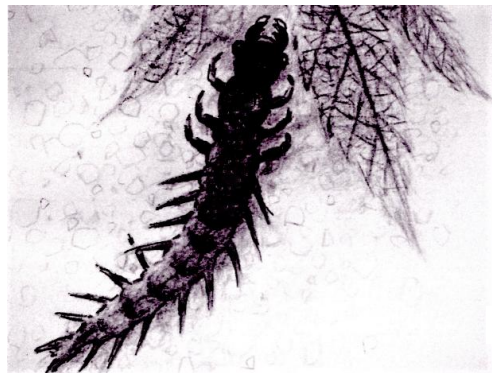
ヘビトンボ類の幼虫は肉食性で一匹いると周囲から他の水生昆虫がいなくなるとも言われます。実際に採取した生きものをトレイに入れたときヤマトクロスジヘビトンボの幼虫は小さなヤゴを大顎でとらえ呑み込んでしまいました。大顎は強く、噛みつかれると痛く、腫れます。土中で蛹になっていてもゴミムシ・ムカデ・クモなどの敵に狙われると大顎を使い攻撃します。蝶などの蛹からは考えられないことで驚きました。

攻撃する姿が蛇のカマをもたげる姿に似ているのでヘビトンボと言われているとも。成虫は夜行性なので飛ぶところをみることは難しいようです。昼間偶然にも見た人によるとその姿は弱々しくトンボのようではなかったそうです。成虫が弱々しく飛ぶのはコナラの樹液や水で生きているからなのではないでしょうか。それにしてもトンボでもないヘビでもない不思議な生きものです。

冬の冷たい水の中のなかでひときわ大きく強そうなクロスジヘビトンボの幼虫の孫太郎虫が主人公の絵本がもうすぐ完成します。

森の絵本づくりの会 志釜じゅんこう

参考文献：林文男、1990b.ヤマトクロスジヘビトンボの生活史と分布、採集と飼育 52



ヤマトクロスジヘビトンボの幼虫

イラスト：次田（森の絵本づくりの会）

## 友の会活動報告

## ●コナラの谷の環境整備●

実施日： 11月12日（木）

参加者： スタッフ5名、一般会員無し

新型コロナウイルスの影響で参加者を限定し、コナラの谷の川筋約50mに渡り、水面を覆っている草木の伐採を行い、オニヤンマやヤンマの仲間のトンボの生息環境整備を実施しました。

奴賀レンジャーの協力も得て、計6名で短時間で完了できました。

カワセミファンクラブ 平野

## ●11月定例会報告●

- 日時 2020年11月15日(日) 9:00~10:40
- 出席者 リモート参加 = 秋元、今村、志釜、関根(書記)、高橋、中塚、村松、山口、吉田、渡部  
 観察センター参加 = 青木、大浦、落合(司会)、中里、星隈、掛下R、尾崎R
- 議題
- 1 友の会の10月から11月までの行事報告、プロジェクト報告をしました。  
 一般の方の参加型行事は、「みんなでバードウォッチング」(鳥のくらし発見隊)と「オンラインで季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)が実施され、他は中止となりました。
  - 2 2月までの友の会行事予定を確認しました。  
 実施する行事 「みんなでバードウォッチング」「オンラインで季節の森を歩こう」「森の作業体験(間伐)」「ZFC」「初めてのバードウォッチング」(鳥のくらし発見隊)「森を守るボランティア体験」(KFC) その他の一般参加型行事は全て中止の予定です。  
 センターと共催の「森を守るボランティア体験」は定員を縮小して実施する予定です。
  - 3 ごろすけ館利用予定を確認しました。
  - 4 事務局より ・年度末提出書類のお願い ・会計中間報告
  - 5 新メンバーの紹介 3名の方が入会しました。(畑PJ、鳥のくらし発見隊)
  - 6 センターより センター便りのページをご覧ください。

<次回定例会>

日時: 1月17日(日) 9:15~ 場所: 自然観察センター研修室(原則オンライン併用)  
 参加申込は後日メールで連絡します。(定例会終了後理事会)

定例会は会員どなたでも出席できます。

## ●11月理事会報告●

- 日時 2020年11月15日(日) 10:45~11:40
- 出席者 青木、秋元、今村、大浦、落合、関根、星隈、中里、中塚、村松、山口、吉田、掛下R、尾崎R  
 (欠席: 漆原、西山)(COVID-19感染拡大防止のため原則オンライン参加)
- 議題
- 1 中間報告  
 ・定例会で報告のあった事業・会計について意見等はありませんでした。
  - 2 次年度事業方針  
 ・2021年度の主要日程案(総会、まるごと体験、望年会)を了承しました。  
 (COVID-19の状況により4/4総会はオンライン開催、他は再検討の可能性あり)
  - 3 利用推進会議  
 ・3/6(土)13:00~15:00開催予定と議題を確認しました。
  - 4 安全管理  
 ・現年度講習会のオンライン開催提案を了承しました。  
 ・不審者対応と警察によるパトロール強化について報告がありました。
  - 5 その他  
 ・コロナ禍対応に必要な追加・変更予算等について、友の会共通で使用するものとして以下の要望を了承しました。  
 コロナ禍後も現地開催との併用など新しい生活様式対応として継続的に使用します。  
 ①オンライン観察会等用の有償アカウント契約(固定費低減と有効活用方法も調査・研究する)  
 ②同、ジンバル(手振れ防止機器)購入(保管・使用方法も今後検討する)  
 なお、当初予定していたPC更新についてはスペック等を再検討します。  
 ・ブログの将来日付での投稿のルール化を確認しました。
- <次回理事会> 日時 1月17日(日)11:00(定例会終了次第、早めに開始)~  
 場所 自然観察センター研修室(原則オンライン併用)  
 議題 次年度計画、定期総会準備、利用推進会議、安全管理、その他 以上

●森の作業体験（間伐体験）●（一般参加者募集）

萌芽更新などを目的に木を伐採する体験ができます。薪割りやコースター作り、竹細工も体験できます。

日時：2021年2月13日（土）10：00～12：00

集合：10時までに観察の森・炭焼き小屋

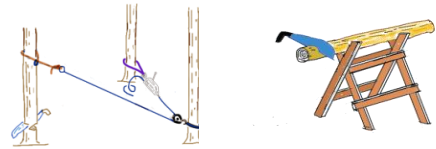
対象・定員：10名（中学生以下、保護者同伴）

※申込多数の場合は先着順とします。

申込期間：1月20日（水）～2月10日（水）

Fax（045-894-8892）（観察の森）または、

Eメール（[entry@ynstomo.org](mailto:entry@ynstomo.org)）



担当：雑木林ファンクラブ

●森を守るボランティア体験●（冬の野鳥を観察・記録しよう）（一般参加者募集）

日時：2021年2月21日（日）9：20～12：00

定員：10名（申込多数の場合は抽選）

申込：メール [yokohama-nc@wbsj.org](mailto:yokohama-nc@wbsj.org) または、Fax 045-894-8892  
2月14日（日）締切

担当：自然観察センター・カワセミファンクラブ

●初めてのバードウォッチング●（一般参加者募集）

初心者対象の「初めてのバードウォッチング」を開催します。あまり森の中を歩いたことのない会員の皆さん、野鳥を観察しながら冬の森を感じてみませんか。

日時：2021年2月28日（日）9：00～12：00

対象・定員：会員・一般合わせて定員10名（申込多数の場合は抽選）

申込期間：1月25日（月）～2月11日（木）

申込：Eメール（[entry@ynstomo.org](mailto:entry@ynstomo.org)）



イラスト：Mu

担当：鳥のくらし発見隊

●友の会プロジェクト紹介（定点カメラで動物調査）●

友の会プロジェクト紹介

毎年5～11月の第2土曜日午前中に4～5人のメンバーで活動しています。奇数月は森の中のけもの道3か所に赤外線センサーカメラを設置し、偶数月はカメラを回収、そして毎月の活動日にセンターで写真のチェックを行っています。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、一般の方も参加しての写真のチェックは行わず、メンバーのみで行っています。今年度から、フラッシュを焚かないタイプのカメラのみを設置していて、夜は白黒写真、かつシャッター速度が遅いためぶれる写真が多く、動物の同定はなかなか難しいですが、よく見ていると段々と何の動物が分かってくることも多いです。同定にはたくさんの目で見る必要があります。

今年、とても残念だったのは6～11月のカメラ設置期間にノウサギが写らなかったこと。2008年からの調査でノウサギが1枚も写らなかったのは初めてです・・・（涙）。

森にはどんな動物がいるのか、増えてるのか減ってるのか等、ご興味ある方、一緒に調べませんか。お待ちしております。

定点カメラで動物調査 渡部



イラスト：Mu

昨年同時期の友の会フログ記事を再掲載して、この季節の森情報を紹介するコーナーです。

## 森の自然情報

### フログより

今回は、2019年12月12日付け「雑木林ファンクラブ」さんのブログです。

昨年は私たちの森でも9月の台風で倒木や土砂崩れなど大きな被害がありました。そしてその復旧作業は年末まで続いたのですね。最近では毎年自然災害に見舞われています。来年は何も無いと良いのですが、安全な森を維持する活動、本当にありがとうございます。編集担当

#### 炭小屋裏台風被害の土砂崩れ修復

今年の台風・大雨は炭小屋裏保全管理区域の林にも大きな影響が出ました。この区域において、今年の夏には大きなヒノキの木にコクランの群生が成長するのが見られたのですが、今回の大雨と台風にて、大きなヒノキは根元から倒れ、付近は表層の土が流され、土が剥がれてしまいました。



倒木はこの区域だけでも十数本に及び、順次処理を進めています。

今日は、流れてきた土を除き、これ以上流れないように土止めを行いました。



来年、またコクランが咲くところを見たいものです。  
雑木林ファンクラブ ほしくま



# 自然観察センターだより



2020年 12月号

## 【報告】第4回 保安全管理フォローアップの会(11/7(土) 13~15時)

○参加者：友の会2名(落合道夫さん、藤原功さん)

レンジャー2名(掛下尚一郎、中沢一将)

○内容：桜林の保安全管理作業

2017年にサクラ類を中心に除伐作業を行い日当たりが良くなったことで、このところササ類が侵入してきています。今回は主に植生調査を行っているコドラート周辺を中心にササ刈りを行いませんでした。少人数ではありましたが、時間内に目標としていたところまで無事作業を終えることができました。



## 【お知らせ】保安全管理フォローアップの会 第5回予定

★次回 1/9(土) 13~15時

※感染症予防対策のため先着10名までとさせていただきます

○内容：ピクニック広場のクズ掘り 集合：研修室

昨年、ピクニック広場でクズの根を掘り起こした場所では今年、オギの勢力が盛り返していました。今回は昨年手を付けることのできなかった場所の根掘りを行います。クズの根の発達の様子やその長さには驚かされます。みなさんもご自分の手でクズの根を掘ってみませんか。

持ち物：汚れてもよい服装、帽子、軍手、飲み物、マスク

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下(kakesita@wbsj.org)か中沢(nakazawa-k@wbsj.org)までご連絡ください。

## 【報告】観察センターの地域連携

観察の森の周辺施設には「上郷・森の家」「金沢自然公園」があります。上郷・森の家とは、隔月で打ち合わせをしており敷地内で起きたこと、利用状況、予定等の情報交換をしています。今年度は両施設共に休館期間があり、感染対策等に追われましたがオンラインを併用するなど工夫をしてお話をしていました。また金沢自然公園とは、傷病鳥獣の相談や小学校の対応、生きものの調査について等話し合いをしています。獣医の方、飼育や教育担当の方との打ち合わせは我々の業務に大変参考になります。さらに観察の森に隣接する長倉町の方々と先日はじめて防災、防犯に関する打ち合わせの場を持つことができました。「いざ」という時どうするか。今後も定期的にお話する場を設けていく予定です。お住いの方々からは常日頃、お気づきのこと等のご連絡をいただき、助けていただいています。これからは2つの施設や地域に限らず、様々な分野の施設ともコラボレーションをしていくことができたらと思っています。

## 【募集】鳥類調査超入門

鳥類の簡単な調査方法、結果のまとめ方を身につけてもらうためのイベントを行います。鳥類観察の経験がある方、一歩踏み込んで鳥類について知りたい方、鳥類調査に興味のある方を対象に、調査方法とその結果のまとめ方を学び、自身の観察記録を活用してもらおう、というねらいです。記録をまとめることが、自然を知ること、守ることにつながることに気づいてもらいたいと思います。当日は、実際に調査実習を行います。調査をするにはある程度の野鳥の識別力が必要なため、参加条件を設定しています(双眼鏡持参、野鳥観察歴1年以上、10種以上識別可能)。2月は平日に実施するので、休日のイベントに参加できない人も参加可能です。日時等は裏表紙をご覧ください。

## 【募集】森の生きもの講演会～鳥たちの行動から探そう、生きものつながり～ **オンライン**

遠出のしにくいご時世だからこそ、とことん身近な鳥たちに目を向けてみましょう。「あの鳥、こんな面白いことするんだね」「そんなの食べているんだね」という発見が！講師は、秋山幸也さん（相模原県立博物館学芸員／日本野鳥の会神奈川支部 神奈川県鳥類目録編集委員・研究年報 BINOS 編集員）です。「神奈川の鳥 2011-2015 神奈川県鳥類目録Ⅶ」\*が、今年発行されましたので、そこからわかることも交えてお話いただきます。感染症予防のため、オンラインでの開催となります。日時等は裏表紙をご覧ください。

\*市民の観察記録の蓄積による、県内の野鳥の分布や生態をまとめた基礎資料です。日本野鳥の会神奈川支部により5年ごとに取りまとめられています。どんなものか見てみたい！という方は、レンジャーにお声掛けください。

## 【お知らせ】調査報告 25 を発行します

森での1年間の調査記録などをまとめた「横浜自然観察の森調査報告 25」を12月に発行します。友の会のみなさんの熱心な投稿のおかげもあり今年度もはついに200ページを超える大作となりました。各プロジェクトに1部ずつお渡しするほか、観察の森ホームページでもPDF版を公開予定です。ご覧ください。今回から、製本した冊子が不要の方はお知らせください。PDF版をお送りいたします。

## 【お知らせ】ピクニック広場の工事

ピクニック広場の水道関係施設の建物の工事が現在行われています。広場の利用や通行は可能です。関係車両の出入りがありますのでご注意ください。期間は2021年3月末までの予定ですが、延長の可能性もあります。

### \*\*\*自然観察センターの年末年始のお休み\*\*\*

2020年12月28日（月）から

2021年1月4日（月）まで観察センターは休館となります。

新しい年は1月5日（火）より、開館します。

新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。

なお、休館中も野外は散策できます。

お気をつけて自然観察をお楽しみください。



ハイケの湿地 あまびえ（大久保・作）



ミズスマシの池 あまびえ（金井・作）

**ボランティアさん  
ありがとう**

10月1日  
～11月30日

- 10/1～ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供
- 10/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 11/8 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供
- 11/10 上原明子さん 木道の破損について情報のご提供
- 11/18 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ用薪のご提供

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者：



公益財団法人  
日本野鳥の会  
Wild Bird Society of Japan

# 行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●友の会 季節行事●

下記行事の案内は4ページをご覧ください。

- 森の作業体験（間伐体験） 2/13（土）
- ★森を守るボランティア体験 2/13（日）
- 初めてのバードウォッチング 2/28（日）

●2020年度安全管理講習（オンライン）  
～子供たちの発達、その理解と自然体験～  
野外活動で理解しておきたい子どもの発達、自然体験を通じた成長の支援について学びます。

日時：1/24（日）10:30～12:00  
(ZOOM 接続10:15～)

場所：ZOOMによるオンライン開催です

講師：県立金沢養護学校 手塚嘉美先生

対象：友の会会員限定でZOOMの使える方

申込：下記のいずれかで

- 1) プロジェクトリーダー経由
- 2) 友の会イベント申込用アドレス

([entry@ynstomo.org](mailto:entry@ynstomo.org))

申込締切：1/15（金）

ZOOM 運用方法等の詳細は、友の会ブログ「森のできごと」参照。

## ●自然観察センター主催行事●(一般参加者募集)

### ■鳥類調査超入門

日時：1回目 1/23（土）、2回目 2/18（木）

※両日同じ内容 9:30～12:30 雨天決行

対象：中学生以上で下記条件を満たす方

各回10名（抽選）

- ・双眼鏡を持参できる
- ・野鳥観察1年以上
- ・身近な鳥10種を姿や声で識別可

申込：メールかFAXで。詳細はHPへ。

締切：1回目 1/12（火）、2回目 2/8（月）

### ■森の生きもの講演会（オンライン）

日時：1/30（土）10:30～12:00

対象：ZOOMの使える方。中学生以上

30組（抽選）

※PC1 端末を1組とし、1 端末で複数人の視聴可

申込：メールにて。詳細はHPへ。

締切：1/22（金）

各内容は「自然観察センターだより」もご覧ください。

## ●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

### ●みんなでバードウォッチング（野鳥観察）

～のんびり楽しむバードウォッチング～

事前申込制で開催しています！

1/10（日）・2/14（日）

9:30～12:00（雨天中止）

定員：10名（事前申込、応募多数の場合抽選）

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴で）

申込：メールで [entry@ynstomo.org](mailto:entry@ynstomo.org)

申込内容

- ① 行事名「みんなでバードウォッチング」
- ② 参加者全員のお名前と年齢
- ③ 代表者連絡先（住所、携帯電話番号）
- ④ 双眼鏡の貸出し希望台数

詳細は友の会ブログ「森のできごと」参照

担当：鳥のくらし発見隊

毎月第2日曜

### ●オンラインで季節の森を歩こう

～リモートでの森の観察会開催中です！～

1/10（日）・2/7（日）

11:00～11:30（ZOOM 接続10:00～）

定員：先着10組（1 端末が1 組、1 組何人でも可）

申込：メールで [entry@ynstomo.org](mailto:entry@ynstomo.org)

申込内容

- ① 件名「オンライン観察会申込」・日時
- ② 全員のお名前・お子様の年齢
- ③ zoom 利用経験の有無（あればアカウント名）
- ④ 通常の「季節の森を歩こう」参加経験の有無
- ⑤ この観察会をどこで知ったか

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

以下の定例行事は今年度は中止です。

### ●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜

### ●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

### ●自然と遊ぼう（園内の自然案内）

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜、12月は第2土曜

発行日 2020年12月20日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: [jimukyoku@ynstomo.org](mailto:jimukyoku@ynstomo.org)